環境・エネルギー戦略有識者会議中間とりまとめ（概要）

参考資料No.1

■目指すべき都市像＜基本理念＞

【省エネルギー対策】とあわせて、**【地域賦存のエネルギー資源を最大限活用】**した**【自律分散型エネルギーシステムを構築】**
【災害に強い安全で安心な都市環境を形成】　地球温暖化防止にも資する**【わが国やアジアのモデルとなるまち】**

方針１　省エネルギーのさらなる推進

方針２　再生可能エネルギー等の分散型エネルギーの利用

方針３　エネルギーのエリアマネジメント

■福岡市の地域特性と主な課題

(1)地勢

〔特性〕

- 住みやすい住環境
- コンパクトな都市
- アジアに近接
- 人口は増加傾向

〔主な課題〕

①高密度に業務・商業・住宅が集積する既成市街地へのエネルギー対策、特に集合住宅への再生可能エネルギーの導入
②市民やアジアなどへの情報発信・交流のしくみづくり

(2)エネルギー消費特性

〔特性〕

- 民生部門(家庭・業務)・運輸部門でエネルギー消費全体の９割
- エネルギー消費量は増加傾向

〔主な課題〕

①民生部門における省エネルギーの推進と効率的な再生可能エネルギーの利用
②運輸部門、特に自動車に対する対策の推進

(3)再生可能エネルギー等の賦存・活用特性

〔特性〕

- **太陽光**　国内では平均的な日射状況
- **風力**　海域では比較的良好
- **廃棄物・バイオマス**　エネルギーが賦存
- **廃棄物(ごみ)発電**　を推進

〔主な課題〕

①住宅用太陽光発電のさらなる普及
②未利用地を活用したメガソーラーの設置
③湾内の風況を利用した都市型の風力発電
④廃棄物発電のさらなる高効率化
⑤生ごみや下水汚泥などのエネルギー利用
⑥市民や企業がメリットを享受できるしくみづくり

■政策の方向性と具体的施策

※青字は「政策の方向性」に対応した福岡市の平成24年度実施事業

方向性Ⅰ　需給両面におけるエネルギー対策を推進する

①住宅・建築物での高度な省エネルギー・再生可能エネルギー利用　＜スマートハウス常設展示場オープン、住宅用太陽光発電設置補助、地下鉄新駅での最新エネルギー技術導入検討＞

②メガソーラー等、大規模・集中的な再生可能エネルギー利用　＜西部（中田）埋立場へのメガソーラー設置、新青果市場へのメガソーラー設置検討、新たな分散型エネルギー（事業系食品残さ等のバイオマス資源）活用に向けた検討等＞

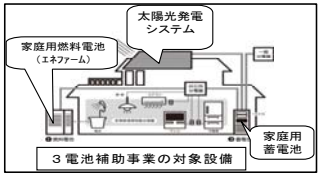
③防災拠点などにおける分散型エネルギー対策の推進
＜照葉小中学校への太陽光発電、蓄電池の整備＞

④燃料電池やガスエンジン・ガスタービンなど天然ガスコージェネレーションなどの利用推進
＜家庭用燃料電池設置補助＞

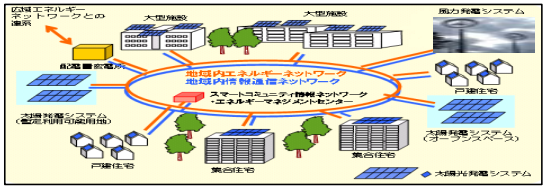
⑤水素エネルギーの利用推進

方向性Ⅱ　広域エネルギーインフラと連携した地域・コミュニティでのエネルギー対策を推進する

①新規面開発に合わせたエネルギー対策
＜３電池（太陽電池・燃料電池・蓄電池）の集中導入の支援＞



②既成市街地の機能更新に合わせたエネルギー対策
③都市インフラを活用した排熱等の熱エネルギーの面的利用
＜新たな分散型エネルギー活用（清掃工場のごみ発電の更なる高効率化や防災拠点等への災害時の電力供給）に向けた研究＞
④再生可能エネルギー利用等によるスマート域内交通システムの推進　＜EVの購入等補助＞
⑤地域・コミュニティでのエネルギーマネジメントの推進
＜アイランドシティ・スマートコミュニティ整備計画の策定＞



方向性Ⅲ　産官学そして市民が参加し恩恵を享受する

①市民の意識を高める、効率的なエネルギー利用や見える化・情報発信等
＜地下鉄新駅での最新エネルギー技術導入検討（再掲）＞
②市民や企業が自発的に参加しやすいしくみづくり
③再エネなどを市民が安心して利用できる環境づくり

方向性Ⅳ　国内そしてアジアの環境・エネルギーモデルとなる

①周辺自治体との連携
②地元企業や団体・NPOなどとの連携及び関連産業の育成
③産学官民による連携体制づくりと国内やアジアへの情報発信
④グリーンアジア国際戦略総合特区における「スマートコミュニティ創造事業」との連携